芳工連だより

'15／12
第 138号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会　□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98　□TEL 028(677)5033
□ http://www.hokoren.com　□ E－Mail：information@hokoren.com　□編集責任者 七井 真人

■ 栃木県産業労働観光部長との意見交換会開催

１１月６日 栃木県産業労働観光部長と芳工連との意見交換会を開催しました。午後２時３０分から管理センター大会議室で開催した意見交換には会員企業２０社から３０名の参加がありました。

管理センターでの意見交換に先立ち、荒川部長さんと県企業立地班職員並びに芳賀町商工観光課の皆さまは、(株)本田技術研究所四輪 R&D センター様のご協力をいただき、午前１１時から事業所を見学させていただきました。

小川管理室長様ほか関係部門の皆さまから、会社概要や BCP（事業継続計画）のご説明をいただいた後、コージェネレーション設備、テストコース、衝突棟などの施設をご案内いただきました。

本田技術研究所は世界戦略の中枢だけに、先端研究開発に関わる人員が集中し、高度な研究開発設備を有することや大規模設備の機能維持に莫大な費用が投じられていることに驚きました。

午後２時 30 分からの意見交換会で芳工連小川会長は、「芳工連の活動については、今年度、新たに２社加入いただき、現在８３事業所が一致協力して工業団地の安全・安心の向上に努めている。

先頃、総務省は 80 歳以上人口が１千万人、100 歳以上が６万人と公表した。そのような背景もあって、人の寿命が１00 歳まで伸びる時代にあっては、人生観や価値観が変わり、社会制度の改革は必然となる。そのような変化に敏感でなければならず、我々は必要な対応を考えなければならない。」と挨拶しました。

荒川部長さんは、「道路整備等のご要望をいただいているが、民間企業に比較するとスピードが遅いと言われるかもしれないが、関係部署に確りと伝え対応をお願いしていく。地域が将来に亘って発展するため、芳工連会員はじめ企業の皆さまのご意見を伺いながら、企業の立地環境の向上、円滑な企業活動の支援に結びつくよう努めたい。」と挨拶しました。

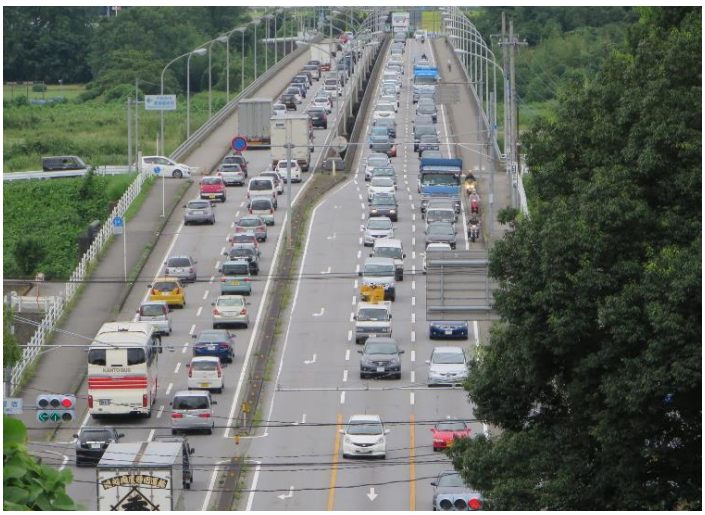
続いて、荒川部長さんが栃木県産業労働観光施策に関し、工場立地件数及び面積の実態、首都圏中央道連絡自動車道の状況、企業誘致支援措置、就職支援、県内主要道路網などの説明をされました。

芳工連から県への要望と回答は次の４件です。

１　宇都宮テクノ街道の中央分離帯保全管理については、『鬼怒川左岸交差点から芳賀工業団地北交差点までの中央分離帯に雑草が繁茂し、横断車両があっても見通しが悪く危険な状況であり、安全な通行ができるよう保全管理の徹底をお願いしたい。』という要望です。

荒川部長さんから、「雑草の繁茂が早いことから、効果的な時期に草刈り等を実施して安全を確保したい。また、コンクリート施工による根本的対策も検討している。」との回答がありました。

２　道場宿交差点信号機の時間調整については、『朝７時から８時の時間帯は、道場宿交差点を先頭に国道４号線バイパス方面に大渋滞が発生している。県の交通量調査では、朝７時から８時の時間帯に鬼怒通りは 6,358 台、国道 408 号線は 1,407 台で、それぞれの通行量の割合は 82%と 18%になっている。このように、鬼怒通りの通行量が圧倒的に多いことから、交通渋滞の解消に向けて交差点信号機の時間調整をお願いしたい。』という要望です。



荒川部長さんから、「県交通管制センターが所管し、複数の交差点信号機を連動させている場所である。今後、県警本部が交通量及び通行時間等を詳細に検討した上でシステム設計するとの情報を得ている。」との回答がありました。

３　宇都宮テクノ街道交差点信号機の時間調整については、『板戸大橋右岸の４交差点信号機は感応式で、南北道路からの進入車両に反応し、テクノ街道の信号は赤となり東進車両が渋滞している。鬼怒川から右岸側３番目と４番目の交差点間は距離にして３００m だが通過に３２分を要する状況だった。板戸大橋右岸の交差点信号機の時間調整によって、交通渋滞は確実に解消できると思われるので対応をお願いする。』という要望です。

荒川部長さんから、『過去に何度も信号機の時間調整を実施してきた交差点であり、直近では８月７日に調整を実施した。もっと効果的な運営ができるよう現地調査を継続した上で調整を行うことになっている。』との回答がありました。

４　芳賀台南交差点信号機の時間調整については、『県道下高根沢・氷室線と都市計画道路（大塚・下原線）が交差する芳賀台南交差点は、出勤時間帯は芳賀台南交差点を左折する車両が圧倒的に多く、交通渋滞が清原台方面まで伸びているので、朝の出勤時間帯だけでも信号機の時間調整を実施いただきたい。』という要望です。

荒川部長さんから、『真岡警察署が現地調査を実施し適切な対応を検討する。』との回答がありました。

今回の意見交換会で提出された４件は、交通渋滞解消や交通事故の削減に直結することから、スピードある対応をお願いしたいと思います。

■ 総務企画部会

（1）初級管理者セミナーを開催

１１月１１日　管理センター中会議室において総務企画部会が主催する初級管理者セミナーを開催しました。入社５年から１０年の管理者を対象としたセミナーです。

今回は、『部下をやる気にさせる上司力向上セミナー』ということで、部下をまとめる方法、指導テクニック方法について、より深くより具体的に指導いただきました。

２０代から３０代の社員に対し、それぞれの特徴を理解した上で、良い雰囲気づくりを大切にした指導が大切であることを講師が強調し、具体的な事例を交えて説明しました。

さすがに、職場での経験年数があり重要なポストにある管理職だけあって、受講者は会社の理念、目的、行動指針をしっかりと理解し、高いスキルをもって日々の業務に当たっていることが、講師からの質問に対する回答で想像できました。

参加者のアンケートには、「時代とともに考え方、意識が変わっているので、部下には具体的に伝え、納得してもらうことが大切であると改めて分かりました。」、「短い時間でも大変勉強になったので、次回のセミナーにも参加したい。」などの記述があり、リーダーとしての意識を強く持っていただく機会となったと思います。是非、このセミナーで学んだことを職場で実践していただきたいと思います。

（2）第５１回ゴルフ大会を開催

１１月２１日 総務企画部会主催の第５１回ゴルフ大会をロイヤルメドウゴルフスタジアムにおいて開催しました。

二十四節季では小雪の時期ですが、前日までの雨模様から一転、汗ばむほどの秋晴れもと、木々が色づくコースでプレーを楽しみました。

今回は、初参加の方を含め１３社から２２名の参加がありました。和やかな中にも真剣なプレーが見られました。

優勝は(株)宮崎工作所のテーラー リィンデン様（(写真右）NET 72.6)、準優勝はジェーピーエス製薬(株)の伊佐野克也様（NET 74.6)、３位はジェーピーエス製薬(株)の菅野隆様（NET 75）でした。

大会では３０歳代から８０歳代まで幅広い年齢層の皆さまが楽しく和やかにプレーし、芳工連活動の充実と親睦の深さを感じる一日でした。

今回も多くの企業様から、豪華賞品のご提供をいただきました。有難うございました。

■ 環境整備部会

１１月１７日開催した第２回環境整備部会に合わせ、ひばりが丘公園の花壇に部会メンバー１０名がパンジーの苗を植えました。

正木部会長は事務局長とともに、工業団地の外周道路や公園などを中心に環境パトロールを実施しました。

幹線道路の街路樹は、葉を落とし始めていますが、町委託業者が丁寧に落葉浚いを実施してくれています。

また、街路樹に隣接する企業様においては、社員さんが落葉を袋に集め、片付けている姿も目にします。全立地企業様の環境美化活動のお蔭で工業団地の景観が良くなっています。ご協力有難うございます。

パンジー苗を植えてから管理センターにおいて第２回部会を開催し、今後の事業計画について協議しました。

■ 安全衛生部会

１１月１３日 安全衛生部会主催の危険予知訓練（KYT 基礎課程）研修会を１５社２２名の参加により開催しました。昨年に引き続き第２回となる危険予知訓練です。受講者は盛りだくさんの基礎課程を意欲的に受講されました。

真岡労働基準監督署からは高橋署長さんも駆け付け、「災害ゼロを目指す上で危険予知訓練が重要である。全国の労働災害による死亡事故は昨年１，０５７人で昭和３６年の６，７１２人に比較すると約６分の１に減少したが、産業構造や労働形態も変化し、労働安全衛生に係る活動の継続が危ぶまれるので、継続して安全活動を実施していただきたい。」と挨拶しました。

オリエンテーションに続いて受講者は４グループに別れ、コーディネーター１１名の指導と DVD 映像を効果的に使用しながら、「指差し呼称の実践方法」、「KYT の進め方」、「健康問いかけ KYT の進め方」、「危険要因のとらえ方と表現の仕方」、「KYT 基礎４ラウンド法の実践」を学びました。

最初は、恥ずかしい気持ちが先行し、指さし呼称、指差し唱和、タッチアンドコールは貧弱で頼りないものでしたが、コーディネーターの実演や実践の重要性について説明があり、やる気・本気

が高まり、声も大きく、身振りも正確にできるようになりました。

コーディネーターから、段階ごとの具体的事例に基づいた説明があり、受講者は KYT の必要性を納得しながら進めることができたようです。

ゼロ災害運動推進の中核とも言える危険予知（KY）活動の担い手として、受講された皆様がそれぞれの職場で労働安全衛生マネジメントシステムや健康づくり、快適職場づくり等は勿論ですが、交通安全、保安、防火に至るまで視野に広め、この研修で得た知識と技術を活かしていただくことを期待したいと思います。

■ 芳賀町商工会と交流会を開催

１１月２４日　道の駅はが会議室において芳賀町商工会と芳工連との交流会を開催しました。交流会の内容は見目町長による講演でした。芳工連から１４社１９人が参加しました。

見目町長は、「今後のまちづくりについて」と題する講演で、「芳賀町の財政力指数は１．０５で不交付団体となっているが、地方交付税の算定基礎となる基本財政需要額は交付団体と大差のない財政である。次期振興計画は平成２８年から１２年間の計画となるが、各方面の有識者の方々と今年度中に策定する。まちづくりについては、町長選の選挙公約として掲げた「便利をつなげる」、「話題をつなげる」、「笑顔をつなげる」、「教育をつなげる」、「地域をつなげる」の５項目を推進したい。

「便利をつなげる」については、①LRT 整備事業は国道や県道の整備と同じよう考えている。②五行川遊水地に桜を植栽し来訪者の回遊性を高める。「話題をつなげる」については、①食味の良い特Ａ のコメを地域限定で生産する。②梨を海外に輸出し生産者に自信と誇りを持ってもらう。③道の駅は町振興の中心となるので野菜直売所の魅力を再構築する。④工業団地との交流を推進する。⑤小学生に工業団地立地企業の魅力を知ってもう。地元の良さを教え、地域に愛着をもつ若者を育てたい。」など、ご説明いただきました。

芳賀温泉ロマンの湯に場所を変えた懇親会は、芳工連の主山功理事が、「誰とでも仲良くなれる『はがまるくん』の特技にあやかり、懇親会についても有意義な交流の機会としたい。」開会のことばを述べました。

小川会長は、「2011 年の東日本大震災の教訓を基に、BCP のシミュレーションを我が社で本日実施した。本番さながらに各種ダメージの報告を受け、課題解決を図る訓練であった。非常時も地域との連携が大変重要になるので、このような交流会で意思疎通を深め、お互いの信頼を高めたい。」と挨拶しました。

参加された皆様は、名刺交換から会話が弾み、時間を忘れる和やかな懇親会となりました。

■ 真岡地区産業安全衛生大会に参加

１１月１７日　真岡労働基準協会が主催する真岡地区産業安全衛生大会が真岡市内で開催されました。芳工連から２５社２８名の皆さまが参加されました。

この大会は、真岡労働基準監督署が主唱し管内の労働災害防止団体等に所属する事業所等が、安全衛生活動の更なる推進を図るため開催されました。特に、例年年末に向けて労働災害の発生が増加する傾向があることから、この大会を機に産業安全衛生対策への決意を新たにする大会です。

主催者である一般財団法人真岡労働基準協会 橋本修会長（日産自動車(株)栃木工場）は、「真岡管内の労働災害の状況は、10 月末までで昨年に比べ 20 件減少し 98 件となっている。死亡災害は２人減の１人であり全体として減少傾向にある。

昨今、景気の緩やかな回復により産業全般が活性しているが、一方で職場を支えた世代の労働者の退職、労使形態の多様化の中、安全衛生の継承が難しくなっている。如何に労働安全活動を充実するか企業に問われている。どのような時代にあっても人を大切にし、安全を優先する企業経営が求められている。」と挨拶しました。

また、真岡労働基準監督署の高橋拓署長は、「企業を取り巻く状況は、規模・業種による違いはあるものの設備投資の伸び悩みなどを背景として、景気は足踏み状態にある。管内の労働災害発生状況は、皆様の不断のご努力により、最も多かった昭和 48 年の年間 365 件が 40 年を経て半数程度まで減少した。本年も前年を下回る水準で推移している。

労働災害防止法の改正により、来月 12 月から 50 人以上の従業員の事業所においてストレスチェックの導入が義務付けられている。重点的に取り組むこととして、労働者に精神疾患を発病させないよう、メンタルヘルスを組織的・計画的に取り組むようストレスケア・ラインケアをお願いする。

労働者の安全確保は最大限尊重されなければならない。安全で安心して働けることを土台として企業の発展、地域の発展が図られるよう祈念する。」と挨拶しました。

来賓祝辞は、栃木労働局長代理長岡部長、真岡市長 井田隆一様、上三川町長 星野光利様、芳賀町副町長 上野哲男様が述べました。

表彰式で、優良事業場表彰を関東大協(株)様が、優良従業員表彰は協永堂印刷(株)栃木事業所の大久保美華様、(株)ショーワ栃木開発センターの田島博久様、(株)本田技術研究所四輪Ｒ＆Ｄセンターの佐藤忠様、和田育男様、有田義晃様が受賞しました。他の模範となる皆様のこれからの御活躍を祈念し受賞のお祝いを申し上げます。

おめでとうございます。

■ 新規会員企業様のご紹介

１０月１日付けで、次の２企業様が芳工連に加入しましたので、ご紹介させていただきます。

㈱今仙電機製作所 栃木支店　様

㈱今仙電機製作所様は、２０１３年（平成２３年）９月に芳賀工業団地に「栃木テクニカルセンター」を構えました。

愛知県犬山市に本社を置く自動車部品製造会社で、１９３９年（昭和１４年）に自動車用ホーンの国産化に成功して以来、自動車部品事業を主とし、今ではシート前後スライド機構・シートリクライニング機構・電動シート機構などの新規部品の開発、販売活動をしています。

栃木テクニカルセンターは、最大のお取引先である本田技研工業㈱様向けのシート部品開発拠点として、グローバル化により激しく変わる業界環境の中で一層魅力ある製品開発を行うポジションとのこと。

これからも、高品質で信頼性の高い製品を開発し、躍進されることを御祈念申し上げます。

とちぎコープ芳賀センター　様

とちぎコープ芳賀センター様は、高根沢町から今年の１０月１２日に芳賀工業団地に移転しました。

一人ひとりの消費者が暮らしのさまざまな願いを協同し、助け合いながら実現してゆく消費者の協同組合を生活協同組合（生協）と呼び、「コープ」とも呼ばれています。とちぎコープの本部は宇都宮市川田町にあります。

生協の宅配コープデリは、食品から日用雑貨まで、普段の暮らしに必要なものが、週に一度計画的にまとめ買いできるシステムになっています。

たくさんの組合員さんと一緒に利用することで大きな力となり、一人ひとりの組合員さんの暮らしにお役に立つことを目指しているそうです。

今では、夕食宅配事業も行っており、食事にお困りの方へのサービスや見守り活動も行っています。また、環境を守る取り組みにも力を入れ、温室効果ガスの排出量削減の一環として、芳賀工業団地に新設した宅配センターの屋根に太陽光発電装置を設置したほか、各種リサイクル活動にも力を入れています。

これからも食の安全・安心を届け、誰からも頼られるコープの存在価値を高めていただきたいと思います。

■ 団管連県外研修に参加

栃木県工業団地管理連絡協議会が主催する研修が１１月２６日と２７日の２日間開催され、事務局長七井が参加しました。研修先は石川県小松市のコマツ粟津工場及び富山市内の富山ライトレール（LRT）です。

コマツは、今年で創業９４年となる油圧ショベルやホイルローダーなどの建機メーカーです。

粟津工場は敷地７１ｈａ、建屋２４．77ｈａに３，０００人が働いています。昨年５月完成した新工場は幅１３８m、全長２２５mのラインで、多品種小ロット生産するフレキシブルな組立ラインとなっています。

コマツはインターネットで「もの」を接続するＩＯＴを推進しています。「お客様の現場に全てがある。」との考えから、ユーザーと問題を共有しスピーディーに解決・開発するシステムです。

２００１年からエムトラックスで全世界４０万台の建機の位置、燃料量、稼働状況、メンテナンス情報を一元管理しています。

また、スマートコンストラクションは、現場の作業工程をすべてＩＴ化して有機的に結合し、ユーザーの安全性と生産性向上を達成するスステムです。

関連する２４０の地域企業との共存共栄の仕組み、新技術を開発し高い品質と信頼性追求、地域連携するコマツの体質が印象的でした。今後も更なる飛躍が期待できると思います。

富山市内のＬＲＴは富山ライトレール「ポートラム」との名称で、ＪＲ富山駅北から岩瀬浜まで７．６ｋｍを走行しています。
富山駅北から約１．０㎞が一般道路を自動車と並走しますが、残りは旧ＪＲ富山港線の線路を走行しています。運賃は現金２００円（定期券１８０円）でした。

車両は２両編成で、低床なので高齢者もスムーズに乗降していました。荷物の積み下ろしも便利です。また、走行中は車内騒音もなく乗り心地のよい快適な走行でした。

芳工連日誌

【１１月の実績 】

６日　県産業労働観光部長との意見交換会
８日　第３４回芳賀町民祭
１１日　初級管理者セミナー
１３日　危険予知訓練講習会
１７日　第２回環境整備部会
１７日　真岡地区産業安全衛生大会
１９日　第 49 回芳賀郡市公衆衛生大会
21 日　第 51 回芳工連ゴルフ大会
24 日　芳賀町商工会との交流会
２５日　資源ごみ回収日
２６日　芳賀町民チャリティーゴルフ大会
26 日～27 日　県団管連県外視察研修会

【１２月の予定 】

４日　芳工連全体研修会
１１日　ＬＲＴ事業計画説明会
１１日　第３回役員会
１１日～３１日　交通安全県民総ぐるみ運動
１６日　安全衛生活動事例発表会
１６日　資源ごみ回収日